

平成 28 年度 第 1 回文化財保護審議会会議録

日 時：平成 28 年 6 月 2 日（木）15:00～17:00

場 所：飯山市ふるさと館 学習室

参集者：委 員 吉越委員、樋口委員、岸田委員、平野委員（欠席：丸山委員）

事務局 長瀬教育長、石田文化振興部長、伊達市民学習支援課長、藤本文化財係長、
文化財係小澤、丑山

傍聴人：なし

審議会に先立ち、15:00 から 16:10 まで西大滝のエノキの現地調査を実施

1 開会

（市民学習支援課長）

2 あいさつ

（会長）

先日の熊本地震による熊本城の状況をみるにつけ、飯山市に置き換えてみれば飯山城の石垣のカルテ化を一刻も早く進めることが大事なのかなと思いました。今日は西大滝のエノキが中心になると思いますし、また 28 年度の事業計画等ということで大変大事な会議でありますので、委員の皆さまよろしくお願ひします。

（教育長）

西大滝のエノキを久しぶりに見たわけですが、だいぶ厳しい現状だなと思います。会長から飯山城の整備の話も出ましたが、将来に向かって城門など、所在がはっきりと分かっているものについてはできるだけ地元を集めるということで、三水のお寺の城門については引き取りが決定しています。城門は市内のお宅にもあるわけですが、所有者としっかり確認をしておかないとなくなってしまう可能性もありますので、皆さんのご意見もお聞きしながら長い目で保存していきたいと思っています。また、今日大事な議題がたくさんありますがよろしくお願ひします。

3 協議事項

（1）平成 27 年度文化財関係事業報告について

前回の審議会では報告済みのため、資料 3 ページ（7）文化財指定関係のみ説明

（会長）

馬頭観音が正式に県宝に指定されたのご報告がありましたが、委員の皆さんから何か昨年度中の事業についてご意見がありましたらお願ひいたします。

（委員）

特に意見なし

（2）平成 28 年度文化財関係事業計画について

(事務局)

資料4ページにより説明

(会長)

28年度の事業計画について何か意見ありましたらお願いします。

(委員)

正受庵の関係で整備が行われているとのことですが、前住職の思いをお聞きしたことがあり、正受老人の生き方からすると必ずしもこれがいいかどうか、ということをおっしゃられています。お墓についても前住職はあまり望んでいなかったという話も聞いております。その辺は保存会の皆さま方がよく知っておられるのかなと思うのですが、そういった方々のご意見はどんなふうにお聞きされているのかなというのをお聞きできればと思います。

(教育長)

私が保存会の理事長ですが、ご心配いただいた点については前住職が亡くなる前に了解をいただき、また本山でも正受庵をもう一回整備しなければいけないということで、約2千万円をかけてやっておられます。正受庵の精神の面を失わないように、観光化もしないように雰囲気だけは大事にしたいなど。また観光客は正受庵のトイレを使わないという前提で、市で公衆トイレをつくる計画があり、予算もついています。

(委員)

保存会に入っていない方で、そういったことを心配されている方もいらっしゃるかなと思いましたが、お聞きしたわけでありませう。

(部長)

正受庵関係で補足があります。美術館の事業になりますが、今年の秋に花園大学の博物館で「正受老人と白隠」(仮題)という展示を、10月5日から約2か月開催されます。それが終わりますとその説明板などが不要となりますので、それをいただいて来年度春に1ヶ月半くらい、飯山市美術館で同規模の展示会を計画しています。

(会長)

他の視点からいかがでしょうか。

(委員)

資料3ページ(7)文化財指定関係のところ、「木造馬頭観音菩薩坐像」とあるが、観世音の「世」の字が抜けている。県宝指定になった正式名称は正しくは何ですか。

(事務局)

県宝正式名称は「木造馬頭観音菩薩坐像」です。今まで市では「世」を入れており、県のほうにも「世」を入れて申請したが、県の審議会で「世」はいらないということでなくなってしまった。したがって、県宝の名称とすると「世」の抜けた名称が正式なものとなっています。

(委員)

県宝に指定されたとき、指定の通知書がきますよね。そこにも「世」が抜けていたのですか。

(事務局)

そうです。

(委員)

それについて、県から「世」がいらないというコメントはあったのですか。要するに県側が「世」

を落としてしまって通知をよこしたということはないのですか。

(事務局)

それはないです。

(委員)

ちゃんと理があつてということなんですね。

(教育長)

なぜ県は「世」を落とすといったのか。

(事務局)

こちらもしっかりと理解していなかったです。

(会長)

それでは確認をとっておいてください。

(委員)

飯山城の石垣整備については、特別のプロジェクトチームがあつて進めていただいているようですが、工事はいつまでになるんですか。飯山城に行ったらロープが張つてあり、観光客風に行くと変なものだなと。また、2t車が二の丸の奥まで入っている。タイヤの痕が城跡についていて、かなり工事車両が出入りしているようだが。

(事務局)

まちづくり課で三の丸の整備をしていて、一時的にロープを張つたんだと思います。こちらの石垣整備とは別の工事です。

(委員)

直観的に感じたのは、城跡を見学しに行った者としては、なぜロープが張つてあるのか、例えば工事中であるとかちゃんと説明があればいいと思います。

(教育長)

ロープに工事中とか調査中などと説明をつけておくように。

(部長)

文化振興部としてはまちづくり課にその話をして、指導するなど連絡調整をします。

(委員)

せつかくの城跡なので。観光客に来ていただいて、やっぱり気持ちよく見学していただく、ご理解をいただくという意味でもそんなふうに感じました。そこはぜひまちづくり課と検討してください。

(委員)

28年度事業のことで感想なのですが、飯山城跡の石垣修復工事、前にもこの話題があつてなかなか予算が出ないということをお聞きしたので、ここで500万程度の予算がついて調査が始まったというのがすごく進展してうれしいなと思いました。先ほど教育長さんから城門も今年中にいただけるというお話もあつたので、目に見える形で進展していくと、市民の関心も向いて楽しみになるなとそんな感想を持ちました。

(会長)

ふるさと検定については、今年は各学校に必ずやるように話してありますので、学校にいつ頃

できるのか確認してぜひ計画してもらってください。

(事務局)

こちらも早目に準備して校長会で説明させてもらいたいと思います。

(3) 市指定天然記念物「西大滝のエノキ」の現状確認について

(会長)

それでは本日の主要議題になりますが、今見て来たエノキについて、付け足し等ありますか。

(事務局)

特にありません。

(会長)

現状確認をしていただいて、文化財指定から外すかどうかご意見をお伺いして結論を出したいと思っているわけでありますが、いかがでしょうか。前回委員から樹木医にみせてそこから判断したらどうかという意見をいただいたわけでありますが、適当な樹木医がみつからず、森林生態学研究者にみていただいたということではありますが。

(委員)

あれだけになっていけば解除決定で問題ありません。あの状態で指定したままではかえって飯山市は何をやっているのか、どうするつもりだと必ずなってしまいます。看板の撤去や所有者への連絡を進めていかないといけません。

(事務局)

所有者には去年から解除のことも含めて検討していきたいと伝えてあり、ご本人もよく承知され了解していただいています。今日の審議会で最終的な結論を出させていただくということまでは伝えてありますので、このあと解除申請をいただいて進めていきたいと考えています。

(会長)

所有者も了承しているので、解除という方向でよろしいですか。

(委員)

異議なし

(4) その他

(会長)

今日予定されている議題は以上であります、その他ということであれば。

(委員)

文化財マップの一覧表に、県指定富倉の笹ずし（選択無形民俗文化財）と括弧がついているのですが、括弧の意味はどういうことなのですか。市指定の富倉の笹ずしには括弧はありませんが。

(事務局)

括弧はたまたまついてしまったものと思われます。また確認しておきます。

(会長)

あとはよろしいでしょうか。

(委員)

特に意見なし

4 その他

(教育長)

委員の皆さんは、復活教会の中まで見られたことはありますか。次回の審議会で1回見ておいた方がいいのでは。

5 閉会

閉会后、中野市民から寄贈を受けた飯山城二の丸御殿の平面図、古文書等を閲覧